



酒匂の清流

令和3年7月16日(金)発行

校長 津田 将美

ふるさとはいつまでも わすれまい

校長室に、松田町の名誉町民である澁谷壽光さんのレリーフが飾られています。そのレリーフには、校庭を走る子どもたちを背景にした澁谷さんの顔が描かれています。私が新採用の教員として松田小学校に赴任した時と変わらず、ずっとここから松田小学校の子どもたちのことを見守り続けてくださっています。

澁谷壽光さんは、明治27年、今の「さくら保育園」にあった家で生まれました。松田小学校を卒業し、神奈川県立第二中学校、東京高等師範学校に進み、陸上の長距離ランナーとして活躍しました。

卒業後は、陸上競技部の先生として、多くの長距離ランナーを育てました。また、「日本マラソンの父」と言われる金栗四三さんと力を合わせて、大正9年に第1回大会の箱根駅伝を実現させました。

第11回オリンピックベルリン大会には日本陸上競技の総監督として参加し、入賞者35人という日本の陸上競技の黄金時代を築き、その後も日本陸上競技会の中心的役割を担い続けていきました。

私が赴任した頃には、澁谷さんからの寄付による「澁谷賞」というものがありました。これは「子どもは、健康が第一である。健康でさえあれば、何事もやりとげることができる」という澁谷さんの思いが込められたものでした。学校はそれを基に『澁谷賞』をつくり、持久走記録会でがんばった子どもたちにメダルや賞状、記録証を授与しました。

澁谷賞は現在は行われていませんが、昨年澁谷さんが名誉町民になられたことを機に、今年度より松田小学校の6年生が道徳の授業で澁谷さんの功績や想いについて学ぶこととなりました。

7月6日には、松田町体育協会会長の吉田信男さんをゲストティーチャーに迎え、その授業が行われました。

子どもたちは、資料をもとに澁谷さんの功績や想いについて読み取っていきます。



6年生に澁谷さんのことを伝える吉田さん

- ・陸上競技の審判時代には、技術だけではなく心の在り方が大切であると伝え続けたこと。
- ・競技で活躍する人のかげには、多くの人たちの支えがあること。
- ・ふるさとをいつまでも忘れずに、大切にしてきたこと。

多くのことを学んだ子どもたちの表情は、真剣でした。そして最後に、ゲストティーチャーの吉田さんから話を聞きました。

「がんばれば、何でもできるようになる。大切なのは、続けること、そして健康であること。」

澁谷さんの足跡をたどれば、それは真実であることが伝わってきます。体だけでなく、心の健康も大切にしながら前に進んでいけるといいです。

最後に、6年生の感想を紹介します。

松田町に陸上競技の中心となって支えていた人がいたことを、初めて知りました。話を読んで、どういう活動をしていたのかが、よくわかりました。

私も「どんなに難しいことでも、がんばればできること」を意識してがんばりたいと思いました。

第1回代表委員会

昨年度はコロナ禍のため行うことができなかった「児童代表委員会」が、6月30日に行われました。背筋が伸びるような心地よい緊張感の中、運営委員会の児童から、児童会目標等の提案がありました。

とくしよを大切に

いさいくるを 積極的に

いがくねんどうして 仲良く助け合う

むかいあって あいさつを

昨年度の6年生が残してくれた「夢」という言葉をもとに、より良い松田小学校をめざした目標です。

ホームページで公開させていただいているグランドデザイン(今回の学校便りにも添付)の重点目標の中でも「読書」「あいさつ」は大切にしたいものに入っているのです、児童会とも連携しながら、学校運営も進めていきたいと思えます。

規律のある前向きさの中、提案や質疑等がなされ、心地よかったです。頼りになる子どもたちが、松田小学校児童の主体性を引っ張っていきます。



校舎工事見学会



7月12日に、校舎工事見学会がありました。1校時から6校時まで、1学年ずつの見学会でした。前田建設の方々が、丁寧に資料を用意してくださり、子どもたちには、木のぬくもりを感じることでできる見学会となりました。

30分程度の見学時間でしたが、木は火事に強いこと、癒し効果があること、長持ちをすることなどを学びました。

「ありがとうございました！」の最後のお礼の言葉には、未来への希望がつかっていました。

大きなかぶの朗読劇

ひまわり学級で国語の「大きなかぶ」の朗読劇の発表がありました。登場人物は、おじいさん、おばあさん、まご、犬、猫、ねずみ、そしてかぶ。朗読をする人もいれると、とてもひまわり学級の児童だけでは足りません。そこで1年生の仲間たちが助っ人に加わりました。

昼休みの時間帯だったので、たくさんの1年生が助っ人に来てくれました。とてもにぎやかな朗読劇です。発表は、2回行われました。2回目には、かぶの希望者が多く、なかなか手強いかぶでした。それでもみんなで力を合わせて、「うんとこしょ、どっこいしょ。」

見事にかぶは、ぬけました！！

めでたし、めでたしの朗読劇でした。



SNS防犯教室 7月12日、13日



松田警察署の櫻庭雅美さんを講師に迎え、SNS防犯教室が開かれました。12日は5年生、13日には6年生が指導をいただきました。

毎年のようにSNSに絡む犯罪が起こり、その数は増え続けています。また、社会や家庭のニーズにより、スマートフォンの所持についても低年齢化が進んでいます。それに合わせて、以前は中学生や高校生に多かったSNSによる被害やネットを通じた犯罪、いじめなどの案件も低年齢化をしてきています。そうです。他人事ではないのです。

櫻庭さんからは、実際にあった事例など具体を示しながらの授業をしていただきました。夏休みを前に、大切な学びができたと思います。

ご家庭でも是非、夏休みを前に、家庭でのルール等ご確認いただければと思います。